

三自連だより

大麻西町自治会
大麻扇町自治会
大麻沢町16丁目
サンゴールド自治会
大麻沢町第二自治会
大麻教沢自治会

★「子どもみこし」が行える幸せを感じて

大麻第三住区自治連合会
第48回子供みこし祭り
副実行委員長 石坂 晴信

9月8日、令和になって最初の子どもみこし祭りが開催され、子ども約80名、実行委員70余名、同伴父兄約60名の総勢200名を越す参加者を得て、大盛況のうちに終了することができました。参加してくれた子どもたちや保護者の方々、ご協力いただきました実行委員の皆様へ深く感謝し、心より御礼を申し上げます。



事前の天気予報では、「30℃を超える9月としては異例の真夏日」、「熱中症に嚴重警戒」と報じられ、無事に開催できるのか心配されました。

子どもみこし当日、実行委員の集合時刻である7時20分ごろは曇り空で、暑くも寒くもない、ちょうどよい気温でした。しかし、子どもたちが集まり始めた8時ごろからぐんぐん気温は上昇し、出発する8時40分には、立っただけでも汗が噴き出すくらいの気温となりました。



西地区センターを出発した子どもたちは、最初のうちは元気に「わっしょい、わっしょい」と掛け声をかけながら歩いていたものの、途中からは真夏並みの暑さに負けそうになり、「次の休憩はいつ?」「疲れた・・・」という声も聞こえました。また、巡行ルートの中に設けられた休憩所では、子どもたちも、一緒に歩いていた大人たちも、先を競うように水を求めていました。



約3時間の行程でしたが、子どもたちのがんばりと、沿道から送って

くださる地域の方々の温かい声援のおかげで、何とか無事ゴールまでたどり着くことができました。

今から1年前、胆振地方中東部を震源とした大地震が発生し、江別でも激しい揺れの後に長時間停電するなど、今まで経験したことがないような困難な状況に陥りました。子どもみこし祭りも余震のため中止となりました。

今年度、子どもみこし祭りが開催され、すべての参加者が笑顔で終わることができました。何事もなく、お祭りに参加できる喜びを感じています。

来年も、再来年も、またその先も、多くの参加者を得て、子どもみこし祭りが無事行えることを願っています。

★30℃を越す晴天のもとで汗だくに!

大麻第三住区自治連合会の恒例行事のひとつ”第48回子供みこし祭り”は、9月8日(日)、子供達とその同伴父兄、実行委員の総勢200名を越える大巡行で無事に終わることができました。

直前の予想通り、当日の気温は30℃を越すほど上がり大人も子どももかなり汗だくで身体的には厳しいものでしたが、幸いにも適度な風があり、また昨年の胆振東部地震による中止した反動の気概もあり、これまで以上の盛り上がりのうちに無事に終了することができました。

加えて今年度は沢町26番地の北海道警察大麻寮の若い力5名に参加していただき重厚な神輿の移動や子供達と一緒にワッショイにも安心して見ることができました。大麻寮の皆様本当にありがとうございます。来年もまた大いに期待して…。



幸いにも事故などによる負傷者や体調不良による途中棄権者もなく全員無事に完遂することが出来たのは関係各位のご尽力と心より感謝申し上げます。

なお、今年度の巡行における賽銭収入は82,000円余と聞いており、大麻第三住区自治連合会住区の皆様からの温かいご声援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

★ハッピーのアイロンがけ終える

子供みこし祭り最後の大事な

子供みこし祭りに使用したハッピーのクリーニング料金は、ハッピーと手ぬぐいほか一式で正規料金は¥1,000をオーバーするなど非常に高額です。

一度の子供みこし祭りで使用する量を130着とするとそれだけで年間の三自連予算の25%に達します。

そのため最近では数年に1回ぐらいの割合でハッピーのアイロンがけのボランティアを募り経費節約に努めています。今年では三自連女性部から色々なサークル参加者に声をかけて必要な人数[アイロンがけ13名・折りたたみ7名]を集めていただき、去る9/28(土)にアイロンがけ、その後2日間の陰干しを経て、10/1(火)に折りたたみを終え、子供みこし祭りの全残務を終了しました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



第48回

★西地域市民文化祭の準備中です

「ふるさと動画DVD…新しい街 大麻」再上映予定

今年度で48回目を迎える大麻西地域市民文化祭に向けて現在準備を進めています。住民の皆様の作品の出展を大いに期待しております。

この文化祭は地域の幼稚園や小学校、中学校の子供たちの作品をはじめ、大麻第三住区住民の趣味の発表の場であるだけでなく、有志による器楽演奏や小学校の生徒によるコーラス、さらに子供向けの手作りシアターなどのイベントを開くするほか、今年も昨年度に続いて、現在住んでいる大麻団地がどのようにして作られたかが記録された「ふるさと動画DVD…新しい街 大麻」を上映致します[北海道立図書館協力]

日時	11月3日(日)	9:00~17:00
	11月4日(月)	9:00~12:00
場所	大麻西地区センター	

——記——

昨年の47回文化祭で上映された「ふるさと動画…新しい街 大麻」は、文化祭後に、上映を見逃した方々の多くから問い合わせがありました。以下に北海道立図書館の資料から概要を以下に紹介しておきますので参考にしてください。

「ふるさと動画DVD…新しい街 大麻」

- ふるさと動画DVDは、北海道150年事業の取り組みとして北海道立図書館が所蔵する映像ファイルのうち本道の歴史や文化、アイヌの人たちの生活などを記録した115点を選んでDVD化したものです。

- 「新しい街 大麻」はその中のひとつで、昭和44年、北海道が企画し、北海道放送映画(株)が製作した記録映画です。
- 昭和30年代半ばは、都市への急激な人口集中とそれに伴う住宅不足が課題となり、札幌市とその周辺の住宅不足の受け皿として大麻地区が注目され、昭和39年8月に大麻団地造成起工式が行なわれ、農地や沢が宅地へと大規模に整備され、上下水道、国鉄大麻駅、国道12号線と大麻団地内を結ぶ地下道などと次つぎと整備が進み、整然とした街へと変貌していく様子が長期間にわたり撮影されています。
- 大麻駅の建設工事と開業時の処女列車[昭和41年12月]、「宅地分譲の抽選会」「引越しの様子」など、当時からの方には懐かしく、また、最近になって住まれた方には興味深い映像が納められています。

★第48回子供みこし祭り寸景



当日撮影した全写真の中から約40枚の写真を11/3・4日の文化祭に掲示します